

# 2024 フクシマ連帯キャラバン



福島と向き合え(白おう)  
福島を教訓を忘れるな  
放射能から住民を守れ  
一モア フクシマ / ニュークス  
原発再稼働反対 原子力政策 反対  
子供の未来を守ろう  
命どう茎



## 2024年フクシマ連帯キャラバン報告書



今年度のフクシマ連帯キャラバンも昨年同様、「反原発」という同じ熱い思いを持った北は北海道、南は沖縄の全国の仲間達が集結し、被災地を目で見て、肌で感じる事ができたと思います。

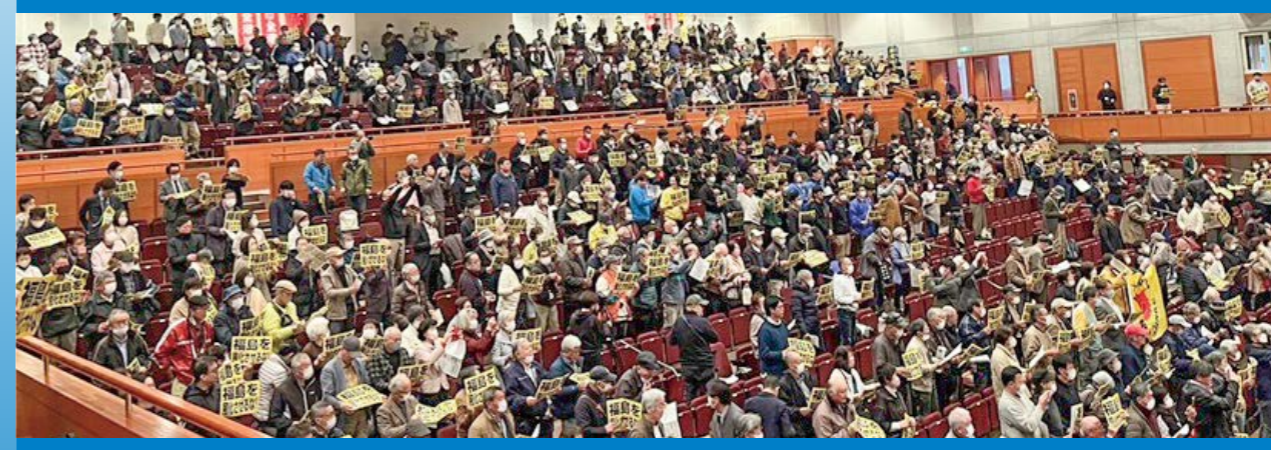
今回のフクシマ連帯キャラバンの日程は、3月16日～20日までの5日間でした。その中で最も印象に残っていることは、3月18日に行った避難した人たちとの意見交換会です。私が被災者に対して「本当の復興とはなんですか？」と質問したところ「いくら除染をしても今まで生活していた暮らしには戻らないので本当の復興なんてない」と答えられたのがすごく印象的でした。地震での家屋の倒壊被害はお金と時間をかければ戻るけど、人との繋がりや思い出は戻らないと知ることができ、原発事故が起きればお金では解決できない、全てを失う恐ろしさを教えられました。改めて「核と人類は共存できない」と全国に伝えていきたいと思います。

2024年フクシマ連帯キャラバン団長 渡邊健也



第0056号 2024年4月15日発行  
全日本港湾労働組合 発行日：随時

# 2024 原発のない福島を！ 県民大集会



フクシマを忘れない！  
原発再稼働を許さない！  
汚染水を流すな！

3.20 原発 全国集会  
さようなら

## 2024 フクシマ連帯キャラバン



### 2024年フクシマ連帯キャラバン報告書



5年前のキャラバンに参加した時にフィールドワークで見た帰還困難区域を囲う厳重なフェンス、積み上げたままの除染土が入ったフレコンバック、倒壊したまま放置されていた民家といった原子力災害の凄惨な爪痕はほとんど無くなって綺麗になっており、確かに見た目上は「復興」しているように見えました。しかしそこで暮らす人々やその地域で愛されていた文化や伝統は未だに戻っておらず、改めて放射能は土地や人間に深刻な被害を与えることを実感しました。今後も「核と人は共存できない」という言葉を胸に、これからも今回集まった全国の仲間達と、そして今後仲間になっていく未来の後輩たちと共に反核運動を続けていきたいと思いました。最後になりますが、5日間行動を共にした全国青年部の皆様、そして開催及び進行をしてくださった東北青年部の皆様、本当にありがとうございました。

全港湾名古屋支部青年部書記長 羽賀達也

# 3.20 さようなら 原発 全国集会